

生産方式革新実施計画の概要

【岩田 雅弘】

2026年3月24日認定

作期分散で自動操舵装置の稼働面積を拡大させるとともに、
他の生産者と収量等のデータを共有して肥培管理を行うことで収益性アップ

申請者：

岩田 雅弘（三重県東員町）

対象品目：

水稻

スマート農業技術：

- ①自動操舵装置
- ②収量計測機能付きコンバイン

新たな生産方式：

- ①作期の異なる品種の導入及び直播栽培体系の導入を通じた作期分散による機械稼働面積の拡大
- ②他の生産者とのデータ共有・分析を通じたほ場ごとの適正な肥培管理

岩田 雅弘

労働生産性の向上

作業の効率化

自動操舵装置



画像引用元 株式会社トボンWEBサイト



作期の異なる品種の導入
直播栽培体系の導入

	3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月		
品種	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
A						田	除					除			防	防			収					
B							田	除				除			防	防			収					
C								田	除				除		防	防			収					
D			直		除				除			除				防	防			収				
E			直		除				除			除						防	防		収	収		

直：直播

田：田植

防：防除

除：除草

収：収穫

作期分散による作業期間の延長
機械稼働面積の拡大

品質・収量の向上

収量データに基づく肥培管理の実施

収量計測機能付きコンバイン



データ共有・分析

分析データに基づく肥培管理の最適化

品質・収量向上効果の増大



産地内の
他の生産者

